

2 総務概要

(1) 消防予算の概要

【第1表】一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	対前年度伸率(%)
一般会計予算(A)	570,298,000	574,391,000	▲ 4,093,000	▲ 0.7
消防予算(B)	12,632,189	12,966,791	▲ 334,602	▲ 2.6
(B) / (A) × 100 (%)	2.2	2.3		

【第2表】当初予算総額

(単位：千円)

科 目		令和2年度	令和元年度	比 較	対前年度伸率(%)
12款1項	1目 消防職員費	9,514,723	9,380,768	133,955	1.4
	2目 常備消防費	817,235	831,558	▲ 14,323	▲ 1.7
	3目 非常備消防費	423,758	433,984	▲ 10,226	▲ 2.4
	4目 消防施設費	1,876,473	2,320,481	▲ 444,008	▲ 19.1
合 計		12,632,189	12,966,791	▲ 334,602	▲ 2.6

(注) 1 常備消防費とは消防署所にかかる消防費をいう
 2 非常備消防費とは消防団にかかる消防費をいう

【第3表】常備・非常備別予算

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和元年度	比 較	対前年度伸率(%)
常備消防に要する経費	12,063,824	12,327,088	▲ 263,264	▲ 2.1
非常備消防に要する経費	568,365	639,703	▲ 71,338	▲ 11.2
消 防 費 計	12,632,189	12,966,791	▲ 334,602	▲ 2.6

【第4表】財源内訳

(単位：千円)

歳出予算額	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	諸 収 入	地 方 債	一 般 財 源
12,632,189	39,923	11,024	105,032	139,944	1,305,200	11,031,066

【第5表】令和2年度予算における消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	予算額
地域の総合的な災害対応力の強化	消防団の充実強化	消防団施設の建替えによる耐震化を計画的に進めるとともに、消防団装備の充実強化を図る。 また、消防団の組織や活動等を積極的にPRし、地域ぐるみで消防団を支える機運を高めることにより、消防団への入団促進を図る。 ◆門司消防団第10分団猿喰支部新築 ◆戸畑消防団第5分団本部新築	115,776
	市民防災活動への支援	「市民防災会」の育成指導や活動助成を進め、地域ぐるみで開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。	6,596
	応急手当の普及啓発活動の推進	市民の救命効果の向上を図るため、AEDを含めた応急手当の普及啓発活動を推進する。	1,734
高齢者等要配慮者の安全・安心対策の推進	あんしん通報システム	緊急通報システムから「あんしん通報システム」への移行により、緊急時の駆け付け体制や福祉・医療の相談機能を強化し、一人暮らし高齢者世帯等の火災や緊急事態への即応を図る。	876
	いきいき安心訪問の推進	介護職員初任者研修を修了した消防団員が中心となり、一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災や家庭内での事故防止の指導、簡単な身回りのお世話をを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、高齢者の安全・安心の向上を図る。 ◆令和2年度の訪問予定数 2,304世帯	7,234
	住宅防火対策の推進	住宅火災による死者の発生を防ぐため、設置義務化から10年が経過した住宅用火災警報器の交換と定期的な点検・清掃について啓発を強化するなど、高齢者世帯等に対する防火・防災対策を積極的に推進する。	936
	Net119緊急通報システム	119番通報が困難な聴覚又は音声・言語機能の障害や疾病等がある方が、外出先からでも、スマートフォン等の簡単な操作で119番通報ができるシステムを運用する。	2,796
あらゆる災害に対応できる消防力の強化	水難救助用資器材整備事業	近年の豪雨災害における教訓を踏まえ、安全かつ迅速に人命救助活動を行うために、救命胴衣やウェットスーツ等の資器材を計画的に整備し、災害対応力の強化を図る。	6,175
	救急体制の充実強化	質の高い救急救命処置を提供できる体制に向け、計画的に救急救命士を養成する。 また、救急救命士の処置拡大に対応できるよう追加講習を受講させる。	16,107
	第49回全国消防救助技術大会の開催	全国の消防救助隊員が一堂に会して人命救助の技術を競う大会を勝山公園(小倉北区)と桃園市民プール(八幡東区)で開催する。 あわせて、来場者が楽しみながら学べるイベントを実施する。	31,300
	新・消防通信指令システムの中間更新	119番通報の受付から消防部隊の編成や出動指令など、消防活動の要となる消防通信指令システムについて、今後の安定稼働と長期継続使用を可能にするため、ハードウェアやOSの一部を更新する。	0 (債務負担 971,400)
消防施設等の整備	(仮称)楠橋分署の移転新築	八幡西区南部の消防力の強化を図るため、老朽化した楠橋分署の移転新築を行う。 ◆令和2年度末 竣工予定	322,500
	(仮称)島郷分署の移転新築	若松消防署ひびきの分署新築に伴い、若松区の消防力適正配置の観点から、老朽化した島郷分署と藤ノ木分署を統合し、移転新築を行う。 ◆令和2年度末 竣工予定	373,400
	消防団施設の耐震化	災害発生時等において、防災拠点となる消防団施設の耐震化を促進するため、耐震診断の結果に基づき、耐震補強工事を計画的に実施する。	11,500

(2) 消防職員

ア 職員の配置・年齢

【第6表】消防局配置表

(令和2年4月1日現在)

区分	計	消防吏員										消防吏員以外の消防職員					
		小計	局長	部長		課長	係長	主査	主任	係員		小計	局長	部長	課長	係長	係員
			消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士						
計	996	993	1	5	5	43	138	250	306	125	120	3	0	1	1	1	0
局長	1	1	1									0					
総務部	部長	2	1		1							1		1			
	総務課	19	17			1	5	6	4	1		2			1	1	
	人事課	10	10			2	2	4	2			0					
	訓練研修センター	32	32			2	3	3	1		23	0					
予防部	部長	1	1		1							0					
	予防課	9	9			1	3	3	1	1		0					
	指導課	14	14			1	3	4	5	1		0					
	規制課	10	10			1	2	3	4			0					
警防部	部長	1	1		1							0					
	警防課	9	9			1	2	4	2			0					
	消防団課	6	6			1	2	2	1			0					
	救急課	18	18			1	5	5	6	1		0					
	消防航空隊	10	10			1	3	5	1			0					
指令課	33	33			3	3	9	15	3		0						
消防局計	175	172	1	2	1	15	33	48	42	7	23	3	0	1	1	1	0
門司	署長	1	1		1							0					
	予防課	10	10			1	2	3	4			0					
	警防課	114	114			3	12	27	37	19	16	0					
	小計	125	125	0	0	1	4	14	30	41	19	16	0	0	0	0	0
小倉北	署長	1	1		1							0					
	予防課	13	13			1	3	4	3	2		0					
	警防課	147	147			3	18	39	57	17	13	0					
	小計	161	161	0	1	0	4	21	43	60	19	13	0	0	0	0	0
小倉南	署長	1	1		1							0					
	予防課	10	10			1	3	3	3			0					
	警防課	103	103			3	12	24	30	17	17	0					
	小計	114	114	0	1	0	4	15	27	33	17	17	0	0	0	0	0
若松	署長	1	1		1							0					
	予防課	10	10			1	3	3	2	1		0					
	警防課	103	103			3	12	24	30	18	16	0					
	小計	114	114	0	0	1	4	15	27	32	19	16	0	0	0	0	0
八幡東	署長	1	1		1							0					
	予防課	9	9			1	2	3	2		1	0					
	警防課	69	69			3	9	15	22	11	9	0					
	小計	79	79	0	0	1	4	11	18	24	11	10	0	0	0	0	0
八幡西	署長	1	1		1							0					
	予防課	11	11			1	3	3	3	1		0					
	警防課	146	146			3	18	39	49	21	16	0					
	小計	158	158	0	1	0	4	21	42	52	22	16	0	0	0	0	0
戸畑	署長	1	1		1							0					
	予防課	11	11			1	2	3	4	1		0					
	警防課	58	58			3	6	12	18	10	9	0					
	小計	70	70	0	0	1	4	8	15	22	11	9	0	0	0	0	0
消防署計	821	821	0	3	4	28	105	202	264	118	97	0	0	0	0	0	

(注) 1 勤務形態別配置状況 交替制勤務職場：794人、毎日勤務職場：202人

2 女性消防吏員：52人 (昭和62年から採用開始)

【第7表】職員の年齢

(令和2年4月1日現在)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員				
		小計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	部長	課長	係長	係員
平均	39.2	39.0	59.0	56.2	56.0	54.1	49.2	43.3	39.5	27.3	22.8	51.3	59.0	52.0	43.0	
計	996	993	1	5	5	43	138	250	306	125	120	3	1	1	1	0
18歳～20歳	17	17									17	0				
21歳～25歳	105	105								18	87	0				
26歳～30歳	141	141							29	96	16	0				
31歳～35歳	164	164						24	129	11		0				
36歳～40歳	131	131					7	75	49			0				
41歳～45歳	130	129				1	36	73	19			1			1	
46歳～50歳	111	111				8	40	40	23			0				
51歳～55歳	108	107		2	2	17	33	24	29			1		1		
56歳以上	89	88	1	3	3	17	22	14	28			1	1			

イ 職員の任用・退職

【第8表】職員の任用・退職

(令和元年度)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員				
		消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	局長	部長	課長	係長	係員	
任用	小計	50	0	0	0	1	5	0	17	0	27	0	0	0	0	0
	試験採用	27									27					
	選考採用	0														
	再任用(短時間含む)	23				1	5		17							
	昇任	選考昇任	112	1	2	4	10	11	18	36	30					
	出向	市長部局等へ転出	12				1	7		4						
	市長部局等から転入	10					7	1	2							
	休職	1							1							
	復職	1							1							
退職等	計	33	0	1	0	6	5	6	13	1	1	0	0	0	0	0
	普通退職	6							1	3	1					
	定年退職	22		1		5	2	5	9							
	再任用退職	5				1	3		1							
	死亡・その他	0														

【第9表】消防士の採用試験（過去5年間）

区分	試験実施年度	受験者	合格者	最終合格率 単位：倍	翌年度の採用人員
初級職	平成27年度	223 (6)	13 (2)	17.2 (3.0)	11 (1)
	平成28年度	223 (7)	13 (2)	17.2 (3.5)	11 (2)
	平成29年度	219 (12)	14 (1)	15.6 (12.0)	12 (1)
	平成30年度	191 (7)	11 (2)	17.3 (3.5)	10 (2)
	令和元年度	176 (8)	9 (1)	19.6 (8.0)	9 (1)
上級職	平成27年度	184 (8)	21 (2)	8.8 (4.0)	20 (2)
	平成28年度	173 (6)	17 (1)	10.2 (6.0)	17 (1)
	平成29年度	172 (5)	23 (2)	7.5 (2.5)	23 (2)
	平成30年度	196 (6)	20 (0)	9.8 (—)	17 (0)
	令和元年度	136 (3)	14 (0)	9.7 (—)	14 (0)

(注1) () は女性消防士で内数

(注2) 回転翼航空機操縦士及び整備士は除く

ウ 職員の派遣・訓練研修

【第10表】職員の派遣先

		(令和元年度)		
北九州市	福岡県消防学校	1人	小倉南区役所総務企画課	1人
	一般財団法人救急振興財団	5人	小倉南区役所コミュニティ支援課	1人
	福岡管区気象台予報課	1人	若松区役所総務企画課	2人
	直方市消防本部	2人	八幡東区役所総務企画課	1人
	総務省消防庁救急企画室	1人	八幡東区役所コミュニティ支援課	2人
	危機管理室危機管理課	9人	八幡西区役所総務企画課	1人
	門司区役所総務企画課	1人	八幡西区役所保健福祉課	1人
	門司区役所コミュニティ支援課	1人	八幡西区役所コミュニティ支援課	1人
	小倉北区役所総務企画課	1人	戸畑区役所総務企画課	2人
	小倉北区役所コミュニティ支援課	1人	戸畑区役所コミュニティ支援課	1人

【第11表】訓練研修・資格取得・派遣状況

基本研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新規採用職員研修	H31.4.1~H31.4.25 R1.9.19~R1.10.31	訓練研修センター	27人	総務部訓練研修センター
2	消防士・副士長研修（採用2~5年次研修）	R1.11.28~R1.11.29 R1.12.5~R1.12.6	訓練研修センター	33人	総務部訓練研修センター
3	消防士長研修	R1.5.31 R1.6.14 R1.9.20	訓練研修センター	36人	総務部訓練研修センター
4	消防司令補昇任候補者研修	R1.12.9~R1.12.13	訓練研修センター	19人	総務部訓練研修センター
5	消防司令昇任候補者研修	R2.3.2~R2.3.6	訓練研修センター	11人	総務部訓練研修センター
6	消防司令及び管理者研修	R1.8.16	訓練研修センター	91人	総務部訓練研修センター

専門研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	消防機関員課程	職場研修 R1.6.22~R1.11.22	各所属	23人	警防部警防課
		集合研修 R1.6.21 R2.1.29~R2.1.31	訓練研修センター	23人	
2	消防機関員技術指導員課程	R1.6.28	訓練研修センター	21人	警防部警防課
3	火災調査課程	① R1.6.6~R1.6.7 ② R1.10.10~R1.10.11 ③ R1.12.6	訓練研修センター	21人	予防部予防課
4	予防技術課程	R2.1.10~R2.1.31	訓練研修センター	14人	予防部指導課

特別研修（派遣研修）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新任主査研修	R1. 7. 19～R1. 8. 22 の内2日間	市職員研修所	22人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
2	新任係長研修	R1. 5. 8～R1. 7. 18 の内4日間	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
3	係長2年目研修	R1. 7. 19～R1. 10. 31 の内2日間	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
4	新任課長研修	R1. 5. 10～R1. 7. 11 の内4日間	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
5	課長2年目研修	R2. 2. 13～R2. 2. 14 の内1日間	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
6	計画力向上研修	R1. 11. 26～R1. 11. 27 の内1日間	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
7	分析力・情報収集力向上研修	R1. 11. 14～R1. 11. 15 の内1日間	市職員研修所	20人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
8	状況対応力向上研修	R1. 10. 23	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
9	企画立案力向上研修	R1. 11. 19	市職員研修所	12人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
10	リーダーシップ向上研修	R1. 10. 24	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
11	チームワーク向上研修	R1. 11. 13	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
12	説明（説得）力向上研修 〔主査・主任・係員〕	R1. 11. 6～R1. 11. 7 の内1日間	市職員研修所	16人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
13	説明（説得）力向上研修 〔係長〕	R1. 11. 8	市職員研修所	4人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
14	市民対応力向上研修	R1. 11. 12	市職員研修所	16人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
15	人材育成力向上研修	R1. 12. 17	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
16	管理者倫理(不祥事防止)研修	R1. 12. 24～R1. 12. 25 の内1日間	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
17	管理監督者人権研修	R2. 1. 16～R2. 1. 17 の内1日間	市職員研修所	15人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
18	メンタルヘルス・ファーストエイド研修	R1. 7. 19	市職員研修所	7人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
19	再任用希望者研修	R2. 1. 29～R2. 1. 30 の内1日間	市職員研修所	18人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
20	自治体法務(行政法)研修	R1. 10. 17	市職員研修所	8人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
21	ファンリテーション研修	R1. 7. 3	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
22	契約事務（基礎）研修	R1. 12. 19	市職員研修所	10人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
23	職員講演会	R2. 2. 12	市職員研修所	12人	職員研修所 (総務部訓練研修センター)
24	第135回初任教育	H31. 4. 4～R1. 9. 19	福岡県消防学校	25人	総務部訓練研修センター
25	第12回初級幹部科（A）	R1. 11. 21～R1. 11. 27	福岡県消防学校	4人	総務部訓練研修センター
26	第48回初級幹部科（B）	R1. 12. 9～R1. 12. 20	福岡県消防学校	2人	総務部訓練研修センター
27	第36回救急科	R2. 1. 9～R2. 2. 28	福岡県消防学校	28人	総務部訓練研修センター
28	第9回救急救命士処置拡大講習	R2. 3. 2～R2. 3. 6	福岡県消防学校	7人	総務部訓練研修センター
29	第10回救急救命士処置拡大講習	R2. 3. 9～R2. 3. 13	福岡県消防学校	6人	総務部訓練研修センター
30	幹部科（第60期）	R2. 1. 9～R2. 2. 27 (e-ラーニング)期間 R1. 8. 24～R1. 12. 28)	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
31	救助科（第80期）	R1. 8. 22～R1. 10. 11	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
32	危険物科（第14期）	R1. 6. 26～R1. 7. 26	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
33	指揮隊長コース（第22回）	R1. 5. 7～R1. 5. 17	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
34	航空隊長コース（第19回）	R1. 12. 2～R1. 12. 13	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
35	女性活躍推進コース（第4回）	R1. 12. 12～R1. 12. 20 (e-ラーニング)期間 R1. 10. 24～R1. 12. 7)	消防大学校	1人	総務部訓練研修センター
36	第1回安全運転講習会	R1. 7. 16	本庁舎	8人	総務部総務課
37	第2回安全運転講習会	R1. 12. 17	本庁舎	8人	総務部総務課
38	九州地区消防長研修会	R1. 11. 14	沖縄県那覇市	1人	総務部総務課
39	認知症サポーター養成講座	R1. 7. 12～R1. 8. 16 の内1日間	本庁舎他	35人	総務部訓練研修センター
40	女性職員ワーク&ライフデザイン研修	R1. 11. 1～R2. 2. 10 の内1日間	毎日西部会館	5人	総務部訓練研修センター

41	視覚障害者支援者研修会	R1. 9. 24～R1. 12. 13 の内1日間	総合保険福祉センター 各区役所等	4人	総務部訓練研修センター
42	自殺未遂者支援者研修	R1. 11. 8	訓練研修センター	24人	総務部訓練研修センター
43	第44回部落解放・人権西日本夏期講座	R1. 6. 26～R1. 6. 27	香川県高松市	1人	総務部訓練研修センター
44	第41回福岡県人権問題研究会	R1. 11. 23	福岡県糟屋郡	1人	総務部訓練研修センター
45	部落解放研究第53回全国集会	R1. 10. 15～R1. 10. 17	愛知県名古屋	1人	総務部訓練研修センター
46	九州地区警防実務研修会	R1. 12. 2～R1. 12. 13	福岡市消防学校	1人	総務部訓練研修センター
47	九州地区大規模災害対応実務研修会	R2. 2. 17～R2. 2. 21	福岡市消防学校	1人	総務部訓練研修センター
48	L G B T (性的少数者)に関する課長研修	R1. 10. 8～R1. 11. 19 の内1日間	北九州市男女共同参画センター・ムーブ	44人	総務部訓練研修センター
49	調査技術会議	R2. 2. 13	福岡市	5人	予防部予防課
50	予防技術講習会	R1. 8. 2	大阪府大阪市	1人	予防部指導課
51	消防実務講習会	R1. 10. 11	佐賀県武雄市	1人	予防部指導課
52	令和元年度九州地区予防実務研修会	R2. 1. 20～R2. 1. 31	福岡市消防学校	1人	予防部指導課
53	建築都市局との交流研修	R2. 1. 10	八幡西消防署	35人	予防部指導課
54	石油コンビナート事務担当者研修会	R2. 3. 19	(書面会議)	1人	予防部規制課
55	危険物等事故防止ブロック連絡会議 (危険物事故防止講習会)	R1. 10. 29	佐賀県佐賀市	1人	予防部規制課
56	屋外タンク実務担当者講習会	R1. 11. 15	毎日西部会館	8人	予防部規制課
57	第34回危険物保安技術講習会	R1. 7. 18～R1. 7. 19	大阪科学技術センター (大阪市)	1人	予防部規制課
58	火薬類取締法研修	R1. 6. 17～R1. 6. 21	経済産業研修所 (東京都)	1人	予防部規制課
59	高压ガス保安法研修	R1. 7. 22～R1. 7. 26	経済産業研修所 (東京都)	1人	予防部規制課
60	行政機関向け高压ガス保安法令等研修会	R1. 7. 29～R1. 7. 30	C I V I 研修センター秋葉原 (東京都)	1人	予防部規制課
61	第22回全国消防救助シンポジウム	R1. 11. 29	響きの森文京公会堂 (東京都)	3人	警防部警防課
62	危険物施設総合研修訓練	R1. 11. 7～R1. 11. 8	危険物保安技術協会 (東京都) 海上災害防止センター (神奈川県)	1人	警防部警防課
63	令和元年度国際消防救助隊セミナー	R2. 2. 19～R2. 2. 21	大津市	1人	警防部警防課
64	令和元年度東部地区CPCRセミナー	R1. 12. 2	九州労災病院	32人	警防部救急課
65	令和元年度大手町病院CPCRセミナー	R1. 11. 15	大手町病院	76人	警防部救急課
66	救急救命士病院実習 (再研修・1又は3日勤)	R1. 5. 17～R1. 7. 26	市内11病院	119人	警防部救急課
67	救急救命士病院実習 (再研修・1当務)	R1. 8. 26～R2. 1. 16	市立八幡病院	103人	警防部救急課
68	第22回日本臨床救急医学会	R1. 5. 30～R1. 5. 31	和歌山県	1人	警防部救急課
69	第38回福岡救急医学会	R1. 9. 7	古賀市	3人	警防部救急課
70	第28回全国救急隊員シンポジウム	R2. 1. 30～R2. 1. 31	宮城県仙台市	4人	警防部救急課
71	事後検証会 (全6回)	奇数月開催 (第3木曜日)	消防局警防本部室	計166人	警防部救急課
72	救急救命士研修課程に係る派遣候補者選考試験	R1. 7. 26	訓練研修センター	35人	警防部救急課
73	派遣型救急ワークステーション	R1. 6. 3～R2. 2. 28	市内5病院	180人	警防部救急課
74	ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練	R2. 2. 21	日本サバイバルトレーニングセンター	2人	警防部消防航空隊
75	第2回航空隊員研修	R1. 11. 25～R1. 11. 26	大分県大分市	1人	警防部消防航空隊
76	飛行時における危険予知対応訓練	R1. 10. 15～R1. 10. 16	兵庫県神戸市	1人	警防部消防航空隊
77	飛行訓練装置による計器飛行訓練	R1. 11. 5～R1. 11. 7 R1. 11. 19～R1. 11. 21	東京都	2人	警防部消防航空隊

特別研修（資格取得）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	整備管理者選任前研修	R1. 7. 18	福岡県もち文化センター	6人	総務部総務課
2	第一級陸上特殊無線技士資格取得研修	R1. 5. 28～R1. 6. 5	福岡市	1人	総務部総務課
3	第三級陸上特殊無線技士資格取得研修	R1. 10. 4	訓練研修センター	33人	総務部総務課
4	大型自動車運転免許資格	R1. 5. 1～R1. 9. 30	市内自動車学校（3ヶ所）	10人	総務部人事課
5	第一種衛生管理者資格取得	R1. 8. 5～R1. 8. 7	小倉北区	3人	総務部人事課
6	エックス線作業主任者	R1. 8. 28～R1. 8. 30 R1. 9. 27	福岡市 久留米市	1人	予防部予防課
7	有機溶剤作業主任者技能講習	R1. 8. 26～R1. 8. 27	小倉北区	1人	予防部予防課
8	特定化学物質及び四アルキル鉛等 作業主任者技能講習	R1. 7. 8～R1. 7. 9	小倉北区	1人	予防部予防課
9	二級小型船舶操縦士資格	R1. 8. 11、R1. 8. 20、R1. 8. 25	門司区	4人	警防部警防課
10	特殊小型船舶操縦士講習	R1. 8. 3、R1. 8. 10	門司区	1人	警防部警防課
11	潜水士資格取得	R1. 10. 1、R2. 2. 21	九州安全技術センター 思永中学校温水プール	6人	警防部警防課
12	フォークリフト運転技能講習	R1. 10. 15～R1. 10. 18	戸畑区	1人	警防部警防課
13	玉掛技能講習	R1. 10. 28～R1. 10. 30	戸畑区	5人	警防部警防課
14	小型移動式クレーン運転技能講習	R1. 10. 1～R1. 10. 3	戸畑区	5人	警防部警防課
15	救急救命士養成課程	H31. 4. 3～R1. 10. 3 R1. 8. 28～R2. 3. 9	救命救急東京研修所 救急救命九州研修所	2人 4人	警防部救急課
16	救急救命士病院実習（就業前）	R1. 5. 1～R1. 6. 30 R2. 2. 1～R2. 3. 2	市立八幡病院	9人	警防部救急課
17	救急救命士気管挿管病院実習	R1. 10. 8～R1. 12. 5 R1. 10. 8～R1. 12. 7	産業医科大学病院 新小文字病院	6人	警防部救急課
18	航空特殊無線技士資格	R1. 10. 30～R1. 11. 1	大阪市	3人	警防部指令課

特別研修（各種研修）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新任大隊長研修	R1. 5. 17、R1. 5. 24、R1. 5. 31	訓練研修センター	6人	総務部訓練研修センター
2	はしご自動車等操作員研修	R1. 11. 25～R1. 11. 27	訓練研修センター	21人	総務部訓練研修センター
3	指定査察員研修	R1. 5. 10、R1. 5. 17、R1. 5. 24	訓練研修センター	360人	予防部指導課
4	消防活動用設備研修	R1. 10. 25	リバーウォーク北九州	12人	予防部指導課
5	査察ファーストステップ講座	R1. 6. 28、R1. 7. 5、R1. 7. 12	訓練研修センター	47人	予防部指導課
6	査察セカンドステップ講座	R1. 8. 9、R1. 8. 16、R1. 8. 23	訓練研修センター	49人	予防部指導課
7	予防技術資格者等再講習	R1. 11. 29	訓練研修センター	22人	予防部指導課
8	違反処理研修「基礎編・実務編」	R1. 7. 31、R1. 8. 1 R1. 8. 21～R1. 8. 23	消防局	8人	予防部指導課
9	救助事例研究会	R2. 1. 24	訓練研修センター	224人	警防部警防課
10	特殊災害対応研修	R2. 1. 24	訓練研修センター	160人	警防部警防課
11	防災基本研修	R1. 6. 14、R1. 6. 21	訓練研修センター	82人	警防部消防団・市民防災課
12	防災研修	R1. 12. 13、R1. 12. 20	訓練研修センター	333人	警防部消防団・市民防災課
13	航空実務研修	R1. 6. 24、R1. 7. 21 R2. 1. 9、R2. 2. 6、R2. 2. 10	航空隊基地 警備訓練場	18人	警防部消防航空隊
14	指令課研修	R1. 6. 21、R1. 6. 28、R1. 7. 5	消防局指令課	60人	警防部指令課

特別研修（各種訓練）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	訓練指導小隊調整会議	H31. 4. 26	訓練研修センター	21人	総務部訓練研修センター
2	第1回消防活動実戦訓練	R1. 6. 4～R1. 6. 27	訓練研修センター	126隊	総務部訓練研修センター
3	第2回消防活動実戦訓練	R1. 8. 20～R1. 10. 3	訓練研修センター	141隊 団54隊	総務部訓練研修センター
4	第3回消防活動実戦訓練	R2. 2. 6～R2. 3. 5	訓練研修センター	147小隊	総務部訓練研修センター
5	実火災体験型訓練	R1. 7. 5、R1. 7. 12	訓練研修センター	33人	総務部訓練研修センター
6	平成31年度消防救助技術指導会 局内選考会	H31. 4. 19	訓練研修センター	70人	警防部警防課
7	第45回福岡県消防救助技術指導会に伴う 消防局長展示	R1. 5. 13	訓練研修センター	73人	警防部警防課
8	前期警防技術練成会	R1. 8. 21～R1. 8. 23	訓練研修センター	各7隊	警防部警防課
9	風水害等シミュレーション訓練 (代替訓練)	R1. 5. 7～R1. 6. 28	各区役所	7区役所	警防部消防団・市民防災課
10	救助実戦訓練	R1. 11. 26～R1. 12. 6	市内	5隊25人	警防部警防課
11	後期警防技術練成会	R1. 10. 27	訓練研修センター	署7隊 団7隊	警防部警防課
12	水難救助福北連携訓練	R1. 9. 17	福岡市	3隊	警防部警防課
13	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練	R1. 11. 9～R1. 11. 10	宮崎県宮崎市	35人	警防部警防課
14	九州ブロックIRT合同訓練	R1. 11. 10～R1. 11. 11	宮崎県宮崎市	8人	警防部警防課
15	第30回北九州市IRT総合訓練	R1. 10. 31～R1. 11. 1	たしろ少年自然の家	IRT20人 他機関41人	警防部警防課
16	救助隊連携訓練	R2. 2. 3～R2. 3. 24	各消防署	7隊 35人	警防部警防課
17	N B C 災害基本研修	R1. 6. 28、R1. 7. 5、R1. 7. 12	訓練研修センター	各12隊	警防部警防課
18	集団救急救助訓練	R2. 1. 17	訓練研修センター	15隊	警防部警防課
19	福岡県消防相互応援協定に 基づく実動訓練	R1. 10. 4	福岡県消防学校	10本部 81人	警防部警防課
20	救急隊員集合訓練（第1期）	H31. 4. 12、H31. 4. 19、H31. 4. 26	訓練研修センター	204人	警防部救急課
21	救急隊員集合訓練（第2期）	R1. 8. 16、R1. 9. 13	訓練研修センター	136人	警防部救急課
22	救急隊員集合訓練（第3期）	R2. 2. 21、R2. 2. 28	訓練研修センター	204人	警防部救急課
23	救急隊員集合訓練（第3期） 北九州地域合同救急シミュレーション訓練	R2. 2. 14	訓練研修センター	100人	警防部救急課
24	航空活動連携指定救助隊訓練	R1. 7. 5～R2. 3. 6	航空隊基地 響灘訓練場、水晶山	60人	警防部消防航空隊
25	離島救急連携訓練	R1. 6. 4～R1. 6. 18	藍島、馬島	20人	警防部消防航空隊
26	連携救急隊訓練	R1. 6. 14、R1. 6. 21	航空隊基地 響灘訓練場	10人	警防部消防航空隊
27	離島災害対応訓練	R2. 3. 3	響灘訓練場 白島国家石油備蓄基地	12人	警防部消防航空隊
28	水難救助救出訓練	R1. 5. 17、R1. 5. 24	昭和池	16人	警防部消防航空隊
29	119番分散受信訓練（計21回）	R1. 8. 1～R1. 9. 30	消防局指令課及び各消防署		警防部指令課
30	口頭指導技術発表会	R1. 10. 18	ウェル戸畑大ホール	332人	警防部指令課

特別研修（国際交流）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	JICA研修「消防・防災」	R1. 9. 17～R1. 11. 22	訓練研修センター他	講師：28人 補助講師12人	総務部訓練研修センター

(3) 職員等の表彰・市民表彰

【第12表】職員・市民表彰

(令和元年度)

区分	計	国			消防長官			知事			市長			消防長			消防署長・部長			全国消防長会会長					全国消防協会会長		
		叙位	叙勲	特別叙勲	功章	永年勤続功章	国際協力功章	永年勤続功勞	人命救助功勞	防火思想普及等	市民表彰	永年勤続功勞(30年)	永年勤続功勞(20年)	功績表彰	特別功勞	功績表彰	善行表彰	協力表彰	賞詞	功績表彰	善行表彰	協力表彰	永年勤続(40年)	永年勤続(35年)	永年勤続(30年)	永年勤続(25年)	永年勤続(20年)
市民表彰	小計	64	0	0	0	0	0	0	4	2	2	0	0	0	0	0	18	0	1	0	37	0	0	0	0	0	0
	人員	57							3	2	1					16		1		34							
	団体数	7							1		1					2				3							
職員表彰		115		9		2	4		23			11	18	6					27	2					11		2

(注) 職員表彰の叙勲数については消防局退職者とする

(4) 職場環境・衛生

ア 消防職員委員会

【第13表】消防職員委員会意見提出状況（過去5年間）

	計		意見区分						審議対象外	
			勤務条件		被服・装備		機械・設備			
	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数
平成27年度	7	7	1	1	2	2	3	3	1	1
平成28年度	18	18	8	8	4	4	5	5	1	1
平成29年度	8	8	2	2	6	6	0	0	0	0
平成30年度	7	7	2	2	5	5	0	0	0	0
令和元年度	45	16	37	11	2	2	5	2	1	1

(令和元年度意見提出状況)

- ・指令課勤務に聴取手当の新設
- ・拘束勤務手当について
- ・交替制勤務者（一部災害出動する毎日勤務者）の拘束時間の労働時間認定について
- ・交替制勤務者（一部災害出動する毎日勤務者）の無賃金拘束時間に対する賃金化について
- ・交替制勤務者（一部災害出動する毎日勤務者）の過去の無賃金拘束時間に対する賃金の支払いについて
- ・交替制勤務者の勤務体系の見直しについて
- ・本署における夜間受付勤務の廃止について
- ・本署における夜間受付勤務の強化について
- ・交替制勤務者のワークライフバランスを推進し、定時に帰宅させてほしい
- ・救急救命士の病院実習における時間外勤務について
- ・消防局とコンビニエンス・ストアとの連携について
- ・スクール救命士講習修了証廃止について（情報漏洩防止、業務の簡素化等）
- ・救急隊雨靴の配置について
- ・ドライブレコーダーを活用した運転記録事後検証会の制定について
- ・救急用訓練人形の適正配置について
- ・モーターサイレンの作動スイッチの変更について

イ 職場安全衛生

(ア) 健康管理 全職員を対象に、疾病を早期発見するため、検診や予防接種を行っています。

a 健康診断・・・特定業務従事者健康診断、特殊健康診断（高気圧、石綿取扱い業務等従事者）

消防艇乗務員健康診断、航空身体検査

b 予防接種・・・破傷風予防接種、B型肝炎予防接種

(イ) 公務災害

【第 14 表】職員の公務災害発生状況

(令和元年度認定請求分)

区 分	計	公務災害					通勤災害
		災害現場	警防訓練	救助技術 大会訓練	通勤途上	その他	
計	9	5	1	2	0	1	0
負傷 状態 未満	挫創傷	2	1	1			
	打撲傷	1	1				
	捻挫	0					
	火傷	0					
	骨折(脱臼)	2		1		1	
	ガス中毒	0					
	その他	4	3		1		
負傷 状態 以上	挫創傷	0					
	打撲傷	0					
	捻挫	0					
	火傷	0					
	骨折(脱臼)	0					
	ガス中毒	0					
	その他	0					

(注) 認定請求中のものを含む

(5) 消防機械・施設の概要

ア 消防車両等の整備

【第 15 表】消防車両等の整備状況

(令和元年度)

車種	台数	内容
普通消防ポンプ自動車	3	更新
水槽付消防ポンプ自動車	2	更新
化学消防ポンプ自動車	1	更新
はしご付消防自動車(40m級)	1	更新
災害対応多目的車	1	更新
指揮車	4	更新
査察車(軽自動車)	2	更新
高規格救急自動車	3	更新
燃料補給車	1	更新

【第16表】消防車両等の配置

(令和2年4月1日現在)

区分 所属別	計	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防車		ポンプ自動車			はしご付車			屈折はしご付消防自動車(ポンプ付)	救助工作車	水難救助工作車	特別高度工作車	特殊災害対応自動車	災害目的対的応車		高発泡照明車	指揮車	司令車	原調査車	査察車		資材搬送車	高規格救急自動車	消防艇	回転翼航空機	起震車	監察車	指揮車	消防指車	救急指車	電源供給車	燃料補給車	フォークリフト	バス		
				IV型	大型	大型	15m級	30m級	40m級	集団救急災害用	林野火災用						軽自動車	普通自動車																					
計	202	25	21	5	1	1	2	5	1	1	7	2	1	1	2	1	1	18	8	1	10	33	5	2	1	26	1	1	1	1	1	9	1	1	1	1	1	2	
消防局	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1	1	3	6	0	0	1	0	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	0	2	
門司消防署	27	4	4	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	4	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
本署	14	1	1				1											1	1	1	1	3	1		2														
老松分署	8	1	1	1						1	1									1						1													
松ヶ江分署	3	1	1																							1													
門司西分署	2	1	1																																				
小倉北消防署	33	5	3	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	5	1	0	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
本署	16	2	1				1				1								2	1		1	3		3														
浅野分署	9	1	1						1		1												1	1	1	1												1	
井堀分署	4	1									1	1														1													
富野分署	4	1	1																				1		1														
小倉南消防署	23	4	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	4	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	14	1	2				1												2	1		1	4		1														
三谷分署	2	1																								1													
新曾根分署	3	1									1														1														
臨空分署	4	1	1	1																						1													
若松消防署	22	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	16	1	2	1			1													1	1		1	4	1	2												1	
島郷分署	3		1								1																1												
ひびきの分署	2										1																1												
藤ノ木分署	1	1																																					
八幡東消防署	19	4	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	13	2	1				1													1	1	1	1	3	1													1	
枝光分署	3	1	1	1																																			
高見分署	3	1									1																1												
八幡西消防署	30	4	5	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	5	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本署	17	1	2	1																2	1		1	5	1	2													
折尾分署	4	1	1				1																				1												
楠橋分署	3	1	1																								1												
黒崎分署	3		1				1																				1												
上津役分署	3	1									1																1												
戸畑消防署	15	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
本署	13	1	1		1	1															1	1		2	1		1											1	
大谷分署	2	1									1																												

(注) 救助工作車についてはポンプ付き(小倉北消防署に配置のⅢ型救助工作車を除く)

イ 消防庁舎の整備

【第17表】消防庁舎の現況

(令和2年4月1日現在)

区 分	敷 地		構 造	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年月日
	面 積 (㎡)	所 有				
消 防 局	2,108.96	市有地	鉄骨鉄筋コンクリート造6階	1,080.24	4,791.11	H14. 2.15
門 司 消 防 署	1,531.34	市有地	鉄筋コンクリート造3階	1,031.97	2,446.94	H31. 1.22
老 松 分 署	3,183.69	〃	鉄筋コンクリート造2階	664.74	1,036.27	H 6. 3.10
松ヶ江分署	1,200.00	〃	鉄筋コンクリート造2階	548.02	756.27	H 7.12.25
門 司 西 分 署	268.22	〃	鉄筋コンクリート造2階	135.20	211.15	S47. 2.18
小 倉 北 消 防 署	3,456.11	市有地	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造3階	1,577.65	2,998.11	H26. 1.25
浅 野 分 署	2,510.00	〃	鉄筋コンクリート造2階	639.26	1,158.31	H16. 1.30
井 堀 分 署	856.21	〃	鉄筋コンクリート造2階	425.93	672.40	H10. 3.20
富 野 分 署	938.57	〃	鉄筋コンクリート造2階	349.32	570.03	H15. 3.24
小 倉 南 消 防 署	1,570.00	市有地	鉄筋コンクリート造2階	843.30	1,483.39	S49. 3.16
三 谷 分 署	747.12	〃	鉄筋コンクリート造2階	241.81	340.32	S46. 3.25
新 曾 根 分 署	1,199.00	〃	鉄筋コンクリート造2階	389.98	585.86	H19. 3.24
臨 空 分 署	1,644.67	〃	鉄筋コンクリート造2階	421.93	700.59	H18. 2.10
若 松 消 防 署	3,464.77	市有地	鉄筋コンクリート造3階	919.81	2,330.86	H11.11.30
島 郷 分 署	1,260.73	〃	鉄筋コンクリート造2階	321.36	467.22	S53.12.28
藤ノ木分署	239.39	〃	鉄筋コンクリート造2階	120.53	186.19	S48. 3.31
ひびきの分署	1,330.00	〃	鉄筋コンクリート造2階	544.83	718.16	H30. 6. 7
八 幡 東 消 防 署	4,075.23	市有地	鉄筋コンクリート造4階	1,398.14	2,565.32	H28. 3.24
枝 光 分 署	1,537.96	〃	鉄筋コンクリート造2階	396.93	549.19	H13. 3.31
高 見 分 署	1,593.86	〃	鉄筋コンクリート造2階	361.71	687.09	H16.12.21
	(高見市民センター含む)					
八 幡 西 消 防 署	3,500.74	市有地	鉄筋コンクリート造4階	1,718.21	3,160.71	R 2. 1. 7
折 尾 分 署	1,468.35	〃	鉄筋コンクリート造2階	422.80	687.93	H10. 3.18
楠 橋 分 署	969.89	〃	鉄筋コンクリート造2階	263.21	406.40	S37. 7.31
黒 崎 分 署	1,295.84	〃	鉄筋コンクリート造2階	406.51	557.99	S62.10.31
上 津 役 分 署	1,032.02	〃	鉄筋コンクリート造2階	415.58	643.67	H11. 3.20
戸 畑 消 防 署	2,899.84	市有地	鉄筋コンクリート造3階	1,083.14	2,425.70	H19.11. 9
大 谷 分 署	399.36	〃	鉄筋コンクリート造2階	135.61	260.44	S38. 1.26
市民防災センター (消防訓練研修センター)	19,930.91	市有地				
本 館			鉄筋コンクリート造2階	429.64	861.64	S57. 3.26
別 館			鉄筋コンクリート造3階	1,244.00	1,886.24	H 4. 2.29
車 庫			鉄 骨 造 1 階	103.50	103.50	S57. 3.26
倉 庫			補強コンクリートブロック造1階	80.09	80.09	S60. 3.30
耐熱耐煙訓練棟			鉄筋コンクリート造2階	245.21	493.64	S62. 3.27
主 塔			鉄骨鉄筋コンクリート造11階	125.58	478.41	S51. 3.31
副 塔			鉄筋コンクリート造7階	36.32	168.50	〃
消防科学研究所			鉄筋コンクリート造2階	121.80	201.80	H 2. 3.20
救急実技研修棟			軽 量 鉄 骨 造 2 階	236.40	440.40	H 7.12.25
消 防 航 空 隊	3,087.36	国有地	鉄筋コンクリート造2階	1,066.91	1,366.82	H18. 2.23
救急ワークステーション	445.18	市有地	鉄 骨 造 2 階	222.28	321.63	H31. 1.21
石油コンビナート防災資機材 東 部 備 蓄 セ ン タ ー	浅野分署敷地内	市有地	鉄 骨 造 1 階	149.70	149.70	H16. 1.30
市民防災資機材倉庫	〃	〃	鉄筋コンクリート造2階	201.93	386.12	H15. 1.22
石油コンビナート防災資機材 西 部 備 蓄 セ ン タ ー	八幡西消防署敷地内	市有地	八 幡 西 消 防 署 に 含 む			
防災資機材黒崎備蓄倉庫 (八 幡 西 区)	466.59	市有地	鉄筋コンクリート造2階	168.41	271.91	S44. 3.29
林野火災消火資機材備蓄倉庫 (小 倉 南 区)	115.72	市有地	補強コンクリートブロック造1階	42.12	42.12	S53. 9. 2
防災備蓄倉庫 (若松区)	港湾空港局敷地内	市有地	コンクリートブロック造1階	50.27	50.27	H 4. 3. 6
北 湊 倉 庫 (若 松 区)	583.14	市有地	木 造 1 階	84.35	84.35	S58. 3.14
林野火災消火資機材備蓄倉庫 (八 幡 西 区)	八幡西消防署敷地内	市有地	八 幡 西 消 防 署 に 含 む			
石峰山無線中継所 (若松区)	産業経済局敷地内	市有地	コンクリートブロック造1階	40.54	40.54	S58. 3.31
	〃	〃	鉄筋コンクリート造1階	59.40	59.40	H 8. 3.31
母原無線中継所 (小倉南区)	産業経済局敷地内	〃	コンクリートブロック造1階	40.34	40.34	S59. 3.31

(注) 八幡東消防署高見分署は、市民センター・学童保育クラブとの合同庁舎

(6) 市民防災センター

市民防災センターは、講習会等を通じて市民や各種防災団体に正しい防災知識を習得してもらい“自分たちの家庭やまちや職場は自分たちで守る”という自主防災意識の醸成を目的として、昭和57年4月に開設しました。

以来、消防職員・団員の消防訓練場としての機能も果たすべく、昭和62年3月に高温多湿下の環境となる火災現場を再現できる訓練施設として耐熱耐煙訓練棟を建設、平成4年2月には、屋内訓練場や大研修室を備えた別館を建設、平成7年12月には、救急訓練や救命講習のための救急実技研修棟を建設し、雨天時の訓練や多人数の研修、講習会等に活用しています。

【第18表】市民防災センター利用状況

<直近10年間>

年	消防職員・団員	市民	合計
平成22年中	9,413	3,985	13,398
平成23年中	10,962	4,911	15,873
平成24年中	10,561	5,174	15,735
平成25年中	10,872	5,044	15,916
平成26年中	10,754	5,123	15,877
平成27年中	10,780	5,026	15,806
平成28年中	15,181	7,179	22,360
平成29年中	16,836	7,171	24,007
平成30年中	11,780	5,445	17,225
令和元年中	16,192	6,049	22,241



(7) 国際協力・技術協力の推進

国際協力・交流事業として独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じ、海外の消防関係者を受け入れる多様な事業を実施しています。

【第19表】JICA研修「消防・防災」国別研修参加実績表

国名等	1988～13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	計	国名等	1988～13	2014	2015	2016	2017	2018	2019	計
大韓民国	1							1	ブラジル	7							7
中華人民共和国	8							8	アルゼンチン		1	1	1				3
インドネシア	2							2	コロンビア	1							1
マレーシア	6	2						8	チリ	2							2
ミャンマー連邦	11	1	1	1		1	1	16	ドミニカ	3							3
ネパール	3	1						4	ジャマイカ	5						1	6
バキスタン	3							3	バラグアイ	4							4
フィリピン	9			1				10	ウルグアイ	8			1				9
スリランカ	5							5	トリニダード・トバコ	1							1
タイ	2							2	ペルー	2							2
ブルネイ	1							1	ベリーズ	2							2
(香港)	5							5	コスタリカ	2							2
モルディブ	4						2	6	グアテマラ	2							2
インド	2							2	スリナム	2							2
ブータン	3		1			1		5	ガイアナ	3							3
東ティモール	1							1	エクアドル	1							1
パングラデシュ	3		1		1			5	セントビンセント	1		1					2
モンゴル					1			1	パナマ	1							1
ベトナム						1	1	3	セントクリストファー・ネーヴィス	2							2
ジョージア							1	1	セントルシア	1							1
小計 20	69	4	3	2	3	3	5	89	ホンジュラス	2							2
ヨルダン	4							4	アンティグアバーブーダ	2							2
トルコ	3							3	小計 22	54	1	2	2	0	0	1	60
アラブ首長国連邦	1							1	バブアニューギニア	6				2			8
クウェート	2							2	マーシャル諸島	1							1
シリア	3							3	ミクロネシア	2							2
レバノン	2							2	ソロモン諸島	3							3
パレスチナ	1							1	オセアニア地域	2		1		1	1	1	6
イラク	1					1		2	トンガ	7			1	1	1		10
イラン	2						1	3	フィジー	14	2	1	1	2	1	2	23
小計 9	19	0	0	0	0	1	1	21	キリバス	2							2
エジプト	4							4	ヴァヌアツ	2							2
ベナン	1							1	ニウエ	4							4
ケニア	4			1				5	クック諸島	2							2
セネガル	5							5	ツバル	1	1						2
レソト	1							1	バラオ	1							1
セイシエル	1	1						2	小計 13	47	3	2	2	6	3	3	66
ウガンダ	1							1	アルメニア	3			1				4
ザンビア	3							3	ブルガリア	3							3
チュニジア	2							2	マルタ	1							1
ジンバブエ	4							4	エストニア	1							1
ジブチ	1							1	小計 4	8	0	0	1	0	0	0	9
マダガスカル	3							3	合計 (84カ国)	229	9	8	9	10	8	10	283
スワジランド	1							1									
タンザニア	1		1	1				3									
アルジェリア					1			1									
ガーナ							1	1									
小計 16	32	1	1	2	1	1	0	38									

(注) 2013年以前は「消火技術」コース

(8) 消防音楽隊

昭和38年2月、北九州市の誕生と同時に編成されました。音楽隊の演奏とカラーガード隊(平成4年9月発足)の演技を通じて、消防の広報に努めるとともに、市主催の式典やスポーツ・文化の祭典、国際的な行事などにも積極的に出演し、北九州市のPRに広く貢献しています。

平成14年度からは、市内の学校に出向く「消防“夢”コンサート」を、平成16年度からは水曜日のお昼の時間に「水曜コンサート」を実施しています。

(令和元年度実績) 消防“夢”コンサート：56校60ステージ、水曜コンサート：8回

【第20表】消防音楽隊の編成

(令和2年4月1日現在)

隊長	副隊長	楽長	副楽長	インスペクター	音楽隊 (楽器別等)													カラーガード隊	総数	
					ピッコロ	フルート	クラリネット	バスクラリネット	オーボエ	ファゴット	サクソフォン	トランペット	ホルン	トロンボーン	ユーフォニアム	テューバ	エレキベース			パーカッション
(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(1)	2(2)	7(6)	(1)	1(1)	1	5(3)	6(3)	3(2)	4(2)	2(1)	3(2)	(1)	5(3)	8(8)	49(35)

(注) 1 ○の数字は、兼務。()内の数字は、会計年度任用職員で内数。
2 総数(35)には、隊長、楽長を含む

【第21表】出演状況 (月別及び行事区分別)

(令和元年度中)

隊別	月別													合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
音楽隊	6	12	15	14	10	24	21	19	11	4	8	0	144	
カラーガード隊	5	12	15	13	9	22	21	19	10	4	8	0	138	
消防関係 (自主防災 団体含む)	回数	2	2	3	2	1	7	2	1	2	3	2	27	
	聴衆者数	410	253	340	800	300	1,070	750	250	380	1,950	2,200	8,703	
市・区関係	回数	2	5	10	8	0	10	13	10	7	1	6	72	
	聴衆者数	400	1,827	2,505	2,500	0	2,875	4,870	7,105	4,225	200	15,960	42,467	
その他 (地域・団体等)	回数	2	5	2	4	9	7	6	8	2	0	0	45	
	聴衆者数	400	10,385	1,300	1,240	15,020	7,800	1,400	2,900	280	0	0	40,725	
合計	回数	6	12	15	14	10	24	21	19	11	4	8	144	
	聴衆者数	1,210	12,465	4,145	4,540	15,320	11,745	7,020	10,255	4,885	2,150	18,160	91,895	

(単位：回数/人)

